

「守るべきもの」のためにUターンして 未来に向けて「守っていききたいもの」とは

能代市で創業 50 年の電気工事会社「石井電気工事」。2021 年 4 月に創業 50 年を迎えた。家業を継ぐべく 2021 年、Uターンした石井秀平さん。「電気工事の現場も時代に合った職場環境づくりや福利厚生が必要」という石井さんに、石井電気工事が目指すこれからの会社のあり方を聞いた。

INTERVIEW

①

企業

井川 剛男 さん／施工工部部

1985 年秋田県秋田市生まれ。前職の半導体の金型づくりに 14 年ほど従事するも、コロナ禍を機に「一生ものの技術を身につけたい」と電気工事の世界に飛び込む。職業訓練校で電気設備を学び、2021 年 7 月石井電気工事入社。近頃は始業前に資格取得のための勉強を欠かさない。

石井 秀平 さん／取締役

1981 年秋田県能代市生まれ。高校卒業後、仕事で渡米し 5 年間アメリカで過ごす。帰国後、大阪で電気工事の資格取得。山口では英語と電気工事の資格が使える米軍基地で働く。2021 年、思い新たに Uターンした。

「電気工事」と聞いてイメージが湧きにくい人も、能代市役所（電気設備工事）、能代市文化会館（照明・音響設備の改修工事）、能代科学技術高校（ガラス温室新築工事）、道の駅ふたつ（高圧変電設備工事）のいずれかには足を踏み入れた経験はあるのでは。取締役の石井秀平さんは「大きい施設での作業も多いですが、近所のおばあちゃんから“ちよっと来てほしい”と言われれば、もちろん駆けつけます。長いお付き合いですから」と明るい笑顔をみせる。

石井電気工事は社長である父・秀雄さんが立ち上げた会社だ。「自分が帰る決断をしなければ会社が途絶えてしまうかもしれない」という現実に向き合ったとき、自分が守っていかうと強く思いました」と石井さん。「守るべきもの」と同時に、石井さんには未来に向けて「守っていききたいもの」があるという。「建設業界の仕事って「3K（きつい／きかない／危険）」と言われてきましたが、これからはそれを当たり前としない職場環境づくり・福利厚生の改善が必要だと思うんです」と語る姿も熱い。「これまで電気工事の仕事は、先輩の背中を見て覚えるものでし



“従業員は家族”の言葉どおりインタビュー中も終始なごやかな雰囲気



「先輩方を見習ってできる仕事を増やしていきたい」と意気込む



分電盤の組み立て作業。「先輩が丁寧に教えてくれるので助かります」と井川さん

た。僕も経験しましたが、それでは本人もやりがいを感じにくい。一人ひとりにきちんと仕事の役割をつくるのが大事だと思うんです。それが働く人の居場所づくりにつながるはず」と話す。

2021 年 7 月に入社した井川剛男さんは石井電気工事での働きやすさを実感しているうちの一人だ。前職では半導体の金型づくりに 14 年ほど従事したが、コロナ禍を機に「一生ものの技術を身につけたい」と電気工事の世界に飛び込んだ。「職人気質の厳しい世界というイメージがありましたが入社してみたら社員同士も仲がよく、分らないことも質問しやすいし、自分のように未経験でも優しく教えてもらえて助かっています」と話す。現在の目標は、年に一度の第一種電気工事士の試験合格だ。「会社からも資格取得をサポートしてもらえてありがたいです。資格を取って、できる仕事を増やしていきたい」。井川さんの笑顔からやりがいを感じて働ける喜びを存分に味わっている様子が見てとれた。

今後、石井電気工事では、石井さんと同様に英語の話せる電気工事士や、女性電気工事士の採用も積極的に進めながら、これまで以上



開店を前に仕込みを進める西澤さん



西澤 隆聖 さん

1979年生まれの東京都出身。
2021年3月、神奈川県横浜市より、妻と2人の子どもと共に移住。妻の両親と6人暮らし。

社長が大事にしている「ありがとう」の言葉（社長直筆）と共に

～ 能代市で暮らし始めた西澤さんに仕事のことや日常生活について伺いました ～

▼横浜市から能代市に移住するきっかけは？

長男の小学校入学を控え、妻の父親の出身地である能代市のほうが子育てに向いていると考えたからです。

▼仕事について教えてください。

まず就職活動ですが、私自身は住んだことがない土地ですし、最終的には移住後の就職決定だったこともあり、かなり不安があったというのが正直なところではあります。

職種としては、焼肉店勤務の経験を生かした仕事ができればとは考えていました。ちょうど（株）ハムセンター秋田が焼肉店の店長候補の求人を出しており、応募を決めました。いまではすごく可愛がってもらっていますし、やりがいも感じています。

▼能代市での生活は実際どうでしょうか。

これまでと劇的に変わったのは、自然を身近に感じることです。こちらで暮らし始めてからは子どもたちと一緒に畑作業をすることがあります。夏は海へ遊びに行き、秋は紅葉など季節ごとの楽しみもあります。以前の生活では、近所ですや海、山を感じることは、なかなか難しかったですね。また、妻の両親と同居していることで、子どもたちをみんなで見ることで、とても安心していきます。そのおかげで、仕事も家族との生活もうまく両立できていると思います。

移住コーディネーターより Message

＼ 能代市での暮らし方、一緒に考えます！／

能代市移住定住相談窓口「のしろ暮らし」には、日々さまざまなご相談が寄せられます。お住まい探しや子育て環境、医療機関、公共交通、就農について：などなど。市内で行われるイベントや趣味の講座についてお答えすることもあります。

能代市移住コーディネーター
菅野 博子 さん

まずは、皆さんの状況や希望をお聞きし、解決することや実現するために必要なことを一緒に明確にし、具体的に支援可能なことについてお手伝いをします。

移住（Ｕターン含む）には意外と費用がかかりますよね。市や県の該当する助成制度をご説明し、金銭的負担が軽減されるようにご案内していますので、移住前に一度はご連絡ください。LINEのトーク機能やEメールでも受け付けていますのでお気軽にどうぞ！

YouTubeチャンネル「のしろ暮らし」では、動画で能代市の暮らしや魅力を発信中です。情報収集の一つとしてお使いください。

地域おこし協力隊より Message

＼ 能代市での就職活動のミカタ／

能代市出身で、高校卒業後は、県外に進学、前職はパンダイナムコアミュージズメントで3年間勤務しました。転勤のため全国各地で暮らした経験を生かし、移住定住につながる活動をしています。また、営業職、内部監査などの業務経験から、地域の企業・事業所

能代市地域おこし協力隊
佐藤 正彦 さん

を訪問し、現状を把握しつつ、魅力向上のお手伝いができればと考えています。

訪問の際には、市や県など行政の取組や支援制度に関する情報提供も丁寧に行うよう努めています。

その結果、東京圏から移住し、就職した場合に100万円（単身者60万円）が申請できる「能代市移住・就業支援金」の対象法人（求人）や、市が実施するオーダーメイド型の「能代市移住体験ツアー」で訪問可能な企業等の登録が大幅に増えました。

8月からは移住検討者や移住して間もない方を対象とした無料職業紹介事業も開始していますので、ぜひご利用ください！



能代市
移住定住
ページ

お問い合わせ

能代市移住定住相談窓口

電話 ▶ 0185-89-2163（総合政策課内）

Eメール ▶ sougou@city.noshiro.lg.jp

LINE ID ▶ @noshiroclass（※右記QRコードから入れます）

